



第5回上田八木・金融政策サーベイ(2016年7月)の結果について ～追加緩和予想が5割超え(57%<前回10%>)～

発表日: 2016年7月27日(水)
上田八木短資株式会社

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(204先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2016年7月22日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	95.5 % (回答者数195 先<Q1における回答者数>)

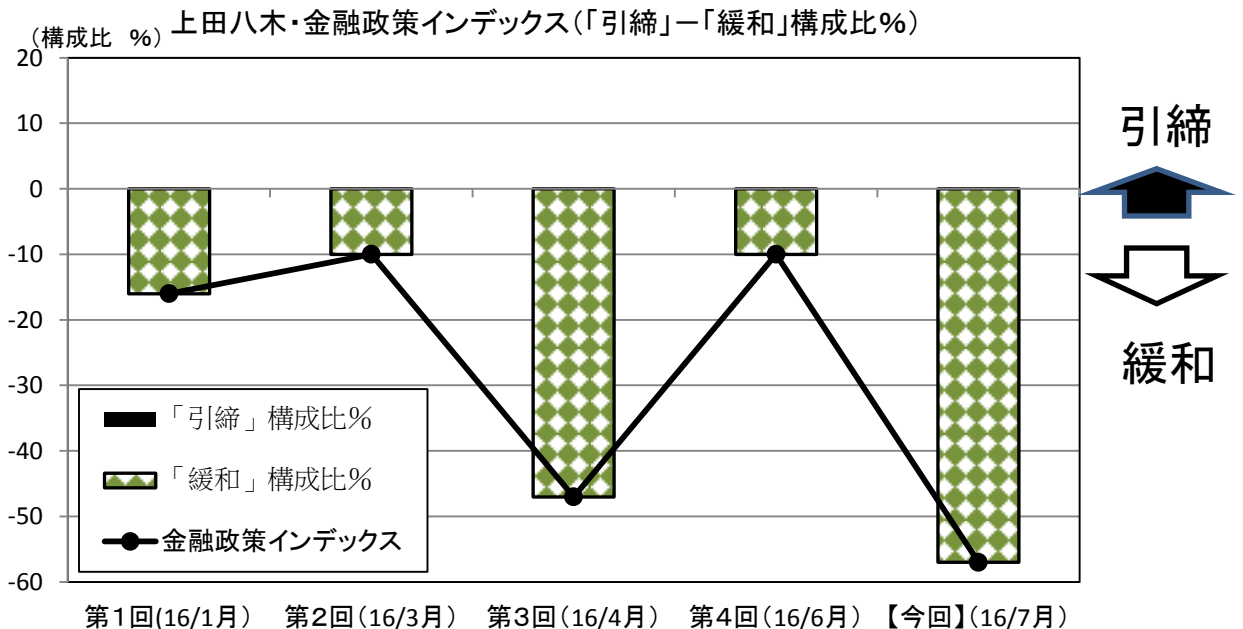
【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(7月28～29日)における決定について

回答者全体の57%が「緩和」とみている。「不変」とみる先は43%だった。「引締」を予想する先はなかった。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲57と、前回対比▲47%ポイントとなり、既往ボトム(2016年4月▲47)も下回った。

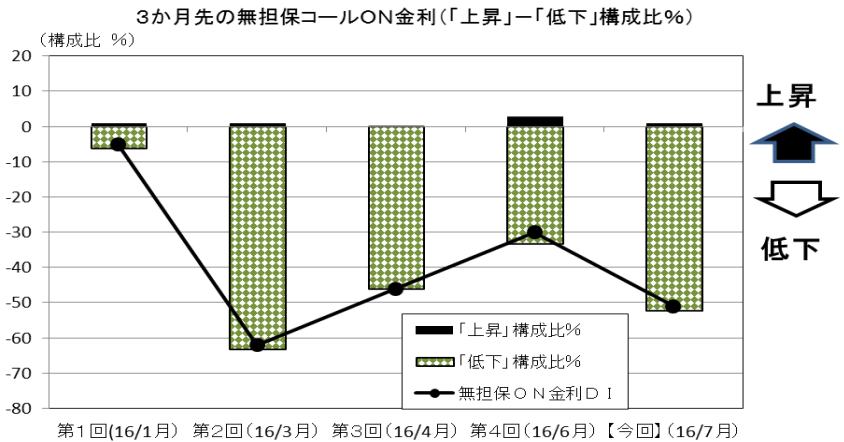
前回(6月調査)との比較では、「緩和」とみる先が+47%ポイント、「不変」が▲47%ポイント。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の52%が「低下」を予想。「不変」の先は47%、「上昇」とみている先は1%だった。

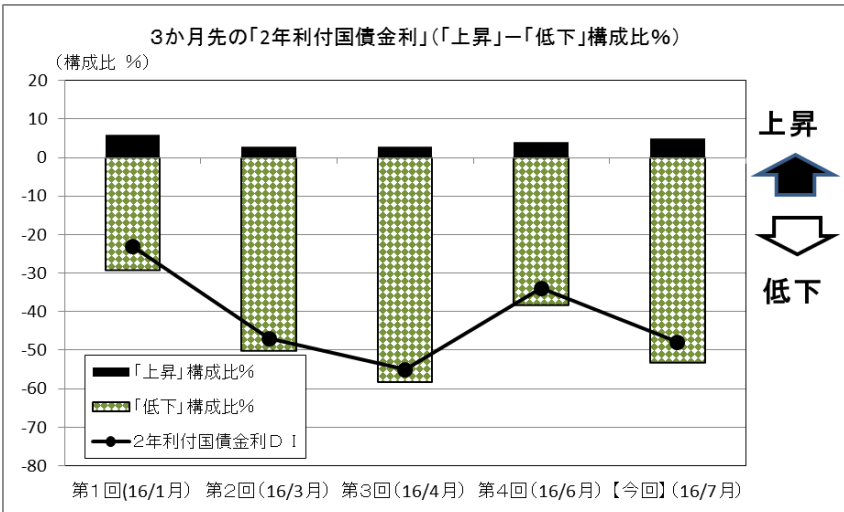
前回(6月調査)との比較では、「低下」とみる先は+19%ポイント(前回33%→今回52%)。
「不変」とみる先が▲17%ポイント(前回64%→今回47%)。
「上昇」とみる先が▲2%ポイント(前回3%→今回1%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の53%が「低下」を予想。42%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は5%であった。

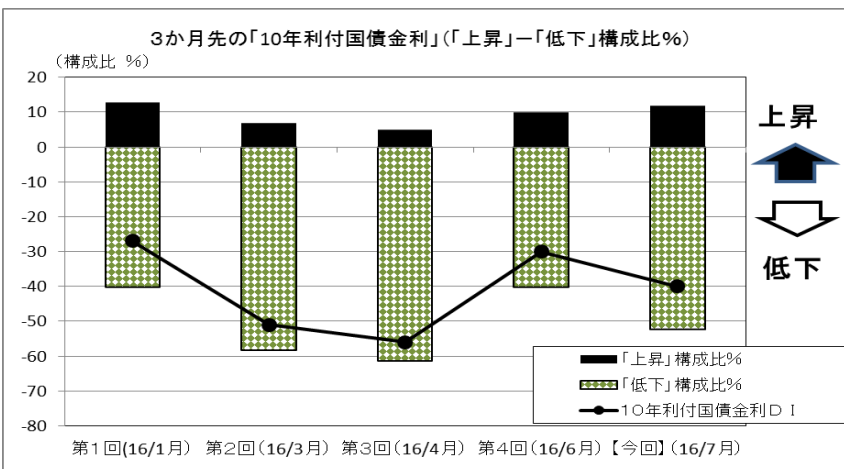
前回(6月調査)との比較では、「低下」とみる先が+15%ポイント(前回38%→今回53%)。
「不変」とみる先が▲16%ポイント(前回58%→今回42%)。
「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回4%→今回5%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の52%が「低下」を予想。36%が「不変」とみている。なお、「上昇」を予想した先は12%であった。

前回(6月調査)との比較では、「低下」とみる先が+12%ポイント(前回40%→今回52%)。
「不変」とみる先は▲14%ポイント(前回50%→今回36%)。
「上昇」とみる先は+2%ポイント(前回10%→今回12%)。



【本調査に関する照会先】

企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)